



施策の検討の方向

～これまでの「策定ワーキング会議の経過」
および「一般アンケート集計結果」を踏まえて～

策定ワーキング会議について

Mission
 策定本部及び各室課・支所・病院事務局等に必要計画案を具申すること。

Sub-Mission
 政策形成力の向上、コミュニケーション力の向上

策定ワーキング会議

- ◆前期基本計画の評価検討
- ◆評価検討を行うためのデータ収集、調査
- ◆各室課・支所・病院事務局へ提案する政策立案にかかる原案の作成

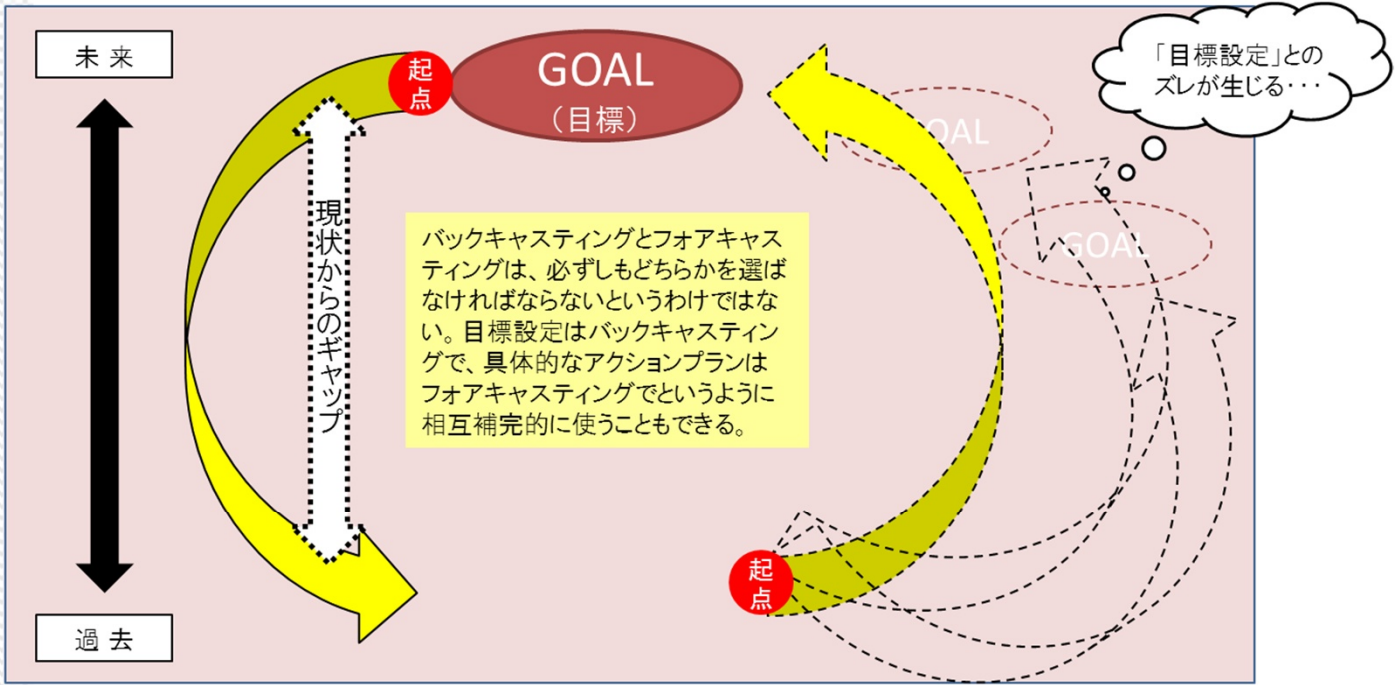
各室課・支所・病院事務局

- ◆策定ワーキング会議から提案された原案のブラッシュアップ
- ◆政策立案



- ① 安芸太田町の現状の分析と統計データ等に基づく将来の予測
- ② 「施策」と「リーディング施策」の進捗状況の確認・現状の分析
- ③ アンケートの分析等

策定ワーキング会議の資料を基に、施策体系を整理し、施策及びリーディング施策をまとめ、後期基本計画(案)を作成する。



◆**バックキャスティング(Backcasting)**
 未来を予測する際、目標となるような状態を想定し、そこを起点に現在を振り返って今何をすべきかを考える方法で、いわば未来からの発想法。国土交通省や環境省などの長期ビジョン策定に活用されている。

◆**フォアキャスティング(Forecasting)**
 現状分析や過去の統計、実績、経験などから未来を予測する方法である。現在を起点として考えるので、台風の進路のように目指す方向がその都度変わり、遠い目標が定まりにくい。

会議等の開催について（H30.11～R1.5）

会議名	開催日	議題
策定方針ワーキング会議 (第1回)	11月15日	<ul style="list-style-type: none"> 第二次長期総合計画について 町の現状把握および町の課題と将来像について
策定方針ワーキング会議 (第2回)	11月28日	<ul style="list-style-type: none"> 策定に当たっての基本的な考え方の検討 重要施策課題や策定体制についての検討
策定方針ワーキング会議 (第3回)	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> 町民参画ワーキング会議の参画方針案について アンケート調査にかかる対象者方針案について
策定本部会議 (第1回)	2月4日	<ul style="list-style-type: none"> 安芸太田町長期総合計画審議会への諮問について
長期総合計画審議会 (第1回)	2月5日	<ul style="list-style-type: none"> 長期総合計画後期基本計画策定方針 安芸太田町の現状等 住民アンケート調査について
○策定ワーキング会議 (第1回)	3月12日	<ul style="list-style-type: none"> 20年後の安芸太田町の姿を予測する(1) 町の現状把握および町の課題と強みについて
○策定ワーキング会議 (第2回)	3月20日	<ul style="list-style-type: none"> 20年後の安芸太田町の姿を予測する(2) 未来シミュレーション1(20年後の安芸太田町の姿)
○策定ワーキング会議 (第3回)	4月15日	<ul style="list-style-type: none"> 20年後の安芸太田町の姿を予測する(3) 未来シミュレーション2(20年後の安芸太田町の姿)
○策定ワーキング会議 (第4回)	4月25日	<ul style="list-style-type: none"> 20年後の安芸太田町の姿を予測する(4) 安芸太田町の「あるべき姿」とそのための「取組み」
○策定ワーキング会議 (第5回)	5月7日 ～5月10日 (サイボウズ上で意見集約)	<ul style="list-style-type: none"> 20年後の安芸太田町の姿を予測する(5) 安芸太田町の「あるべき姿」とそのための「取組み」

策定ワーキング会議における今後のすすめかた

①20年後の姿の予測する

- ・【戦略的な視点を重視した計画づくり】～策定方針から抜粋～
- ・後期基本計画の策定にあたっては、**本町の将来(概ね20年後)の姿を設定し**、そこから振り返って**今後5年間にすべきことを適正に選択**することで、戦略的な視点から施策立案に努める。

②データ収集および分析


- ・【客観的なデータに担保された計画づくり】～策定方針から抜粋～
- ・統計数値をはじめとした、客観的、具体的な**データ分析により裏付けされた計画づくり**を進めることで、数値的な根拠をベースとした施策の立案を目指す。国、県の統計データのほか、平成26年度から庁内で共有している**「町政データ」や「転出入者へのアンケート」等町独自のデータも積極的に活用**する。

③リーディング施策の評価検討

- ・関連する個別施策の指標(KPI)を基に、**リーディング施策毎の評価**を行う。
- ・KPI以外に評価すべき事項がある場合は、その評価方法を検討する。

④今後5年間にすべきことをまとめる

- ・**リーディング施策の評価結果**をまとめる
- ・**後期基本計画のリーディング施策(案)**をまとめる
- ・施策およびKPI等の検討に有効となる**統計データ(推計値含む)**をまとめる。



「まちづくりの基本方向」
にかかると策の検討方針（経過報告）

施策の検討方針（経過報告）

1. 定住・人口対策

～ 自然環境と人間環境の調和のとれたまち～

子育て世帯向けの住宅取得支援策等により、一定の成果は見たが、社会減の傾向を止めることに至っておらず、定住促進に向けた更なる工夫を要すると考えている。

一般アンケート「満足度」×「重要度」変移（H25 H30）

分野	◇満足度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(6)	① 住宅の新築・改修に対する支援	45.09867	47.63669	2.54
(6)	② 若者の定住団地・住宅の整備	37.18634	39.90042	2.71
(6)	③ 就労・通勤の支援	33.34039	36.25805	2.92

分野	◇重要度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(6)	① 住宅の新築・改修に対する支援	38.138	42.512	4.37
(6)	② 若者の定住団地・住宅の整備	50.299	50.517	0.22
(6)	③ 就労・通勤の支援	57.361	56.091	-1.27

分野	◇満足度×重要度	ニーズ		ニーズ変移
		H25	H30	
(6)	① 住宅の新築・改修に対する支援	-3.22	-2.42	0.80
(6)	② 若者の定住団地・住宅の整備	6.60	5.38	-1.22
(6)	③ 就労・通勤の支援	13.93	11.61	-2.32

策定ワーキング会議からの意見

5年後・20年後に予想される状況

- ・町内で働く場所が少なくなり、就労のための転出により社会減が進む。
- ・集客が見込めず店舗の撤退、衰退により住民の買物等の生活利便性が悪くなり、社会減が進む。
- ・少子化により学校や保育所の維持が難しくなり、定住のための子育て環境の充実が必要になる。

検討すべき項目

- ・定住施策としての、仕事づくり、生活利便性、子育て支援の効果的な施策や政策間連携の検討
- ・安芸太田町ならではのメリット（農業、自然環境、水）を活かした定住人口増加施策の検討
- ・将来の人口維持のための「関係人口」増加施策の検討

施策の検討方針（経過報告）

2. 子育て・教育・次世代育成

～ 出産から成人までライフステージをつなげるまち～

乳幼児健康審査におけるきめ細やかなサポートや、認定子ども園、保育所、幼稚園をはじめ、子育て支援センター、放課後子ども教室等、子育て支援ニーズには適確に対応しているものと考えている。

学校教育については、学校適正配置を進めるとともに、教育環境の整備を図ることができた。また、平成30年度には、小中学校におけるICT環境を整備し、教育内容の深化を図ることができた。さらに、加計高等学校の教育環境及び学生寮生活の環境整備を図ることにより、入学希望生徒の増加を果たすことができている。

一般アンケート「満足度」×「重要度」変移（H25 H30）

分野	◇満足度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(10)	① 幼児教育支援の取組み	59.90153	59.8281	-0.07
(10)	② 小中学校教育支援の取組み（施設整備など）	51.71842	60.00871	8.29
(10)	③ 小中学校教育支援の取組み（②以外（授業など））	57.86387	59.52707	1.66
(10)	④ 少子化対策・子育て支援対策の取組み	46.69747	49.80405	3.11
(10)	⑤ 高校教育に対する支援の取組み	49.49166	57.45002	7.96
(5)	① 生涯学習・人材育成の取組み	53.57017	52.42295	-1.15
(5)	② 社会教育施設・図書館の充実	62.91507	61.57402	-1.34
(5)	③ 歴史文化の振興・伝統芸能の伝承への取組み	62.43807	58.92503	-3.51
(5)	④ スポーツ振興への取組み	55.39809	54.5301	-0.87
(5)	⑤ 人権教育・人権啓発活動の取組み	57.83935	57.78114	-0.06

分野	◇重要度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(10)	① 幼児教育支援の取組み	54.835	49.707	-5.13
(10)	② 小中学校教育支援の取組み（施設整備など）	56.111	48.034	-8.08
(10)	③ 小中学校教育支援の取組み（②以外（授業など））	56.630	48.845	-7.78
(10)	④ 少子化対策・子育て支援対策の取組み	61.046	54.419	-6.63
(10)	⑤ 高校教育に対する支援の取組み	53.723	48.896	-4.83
(5)	① 生涯学習・人材育成の取組み	42.957	39.928	-3.03
(5)	② 社会教育施設・図書館の充実	29.187	30.655	1.47
(5)	③ 歴史文化の振興・伝統芸能の伝承への取組み	33.989	33.189	-0.80
(5)	④ スポーツ振興への取組み	26.207	27.869	1.66
(5)	⑤ 人権教育・人権啓発活動の取組み	31.951	28.477	-3.47

分野	◇満足度×重要度	ニーズ		ニーズ変移
		H25	H30	
(10)	① 幼児教育支援の取組み	-2.32	-5.24	-2.92
(10)	② 小中学校教育支援の取組み（施設整備など）	2.07	-6.47	-8.54
(10)	③ 小中学校教育支援の取組み（②以外（授業など））	-0.56	-5.67	-5.11
(10)	④ 少子化対策・子育て支援対策の取組み	7.90	2.24	-5.66
(10)	⑤ 高校教育に対する支援の取組み	2.20	-4.79	-7.00
(5)	① 生涯学習・人材育成の取組み	-6.31	-6.71	-0.40
(5)	② 社会教育施設・図書館の充実	-20.91	-18.95	1.95
(5)	③ 歴史文化の振興・伝統芸能の伝承への取組み	-18.66	-15.37	3.29
(5)	④ スポーツ振興への取組み	-15.66	-14.28	1.38
(5)	⑤ 人権教育・人権啓発活動の取組み	-14.97	-16.49	-1.51

策定ワーキング会議からの意見

5年後・20年後に予想される状況

- ・都市部と比較すると、小中学生が学校以外で、学ぶ場所（塾、習い事等）等の教育環境が整っていないため、学習の機会を求めるニーズが高くなる。
- ・学校の児童生徒数の減少により、多様な人間関係に触れる機会が減り、社会性が育ちにくい。
- ・少子化より子どもの芸能活動が維持できなくなり、若者の伝統文化に対する興味が衰退し、地域の伝統文化の継承ができず途絶える。

検討すべき項目

- ・ICT等の活用により、どこでも学びたいこと学べる環境づくりの検討
- ・子どもたちが、集まる場所や機会の創出（町内、広域）の検討
- ・地域の伝統文化を継承する後継者育成活動支援の検討

施策の検討方針（経過報告）

3. 健康・医療・福祉

～体と心がちょうどいい幸せを感じるまち～

安芸太田町病院の医師確保を図り、医療機器の更新等の医療環境を整備し、住民の安心感を高めることができていると考えている。また、健康・保健施策では、乳幼児期におけるきめ細やかな子育てサポート、や口腔ケアの取組み等成果が上がっており、とりわけ、ウォーキング等の健康運動に関しては住民主導の取組みが進み、協働による健康づくりが進んでいると考えている。

一方で、「地域包括ケアシステム」の形成に関しては、高齢者にとって「安心」を感じることができる仕組みとして、生涯活躍のまち形成と連動しながら進めていく必要がある。

一般アンケート「満足度」×「重要度」変移（H25 H30）

分野	◇満足度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(8)	① 高齢者支援の取組み	57.5655	58.29288	0.73
(8)	② 乳幼児支援の取組み	57.51538	60.06891	2.55
(8)	③ 小・中・高生に対する医療支援の取組み	61.84595	62.86842	1.02
(8)	④ 障がい者支援の取組み	55.84042	56.21583	0.38
(8)	⑤ 在宅介護を支えるサービスの取組み	56.44106	53.83775	-2.60
(8)	⑥ 健康診断など保健サービスの取組み	65.95652	65.3368	-0.62
(9)	① 町内医療体制の充実	47.5801	51.8209	4.24
(9)	② 安芸太田町病院事業の充実	50.36574	55.9148	5.55
(9)	③ 医療機関・福祉介護施設・保健事業の連携	51.50144	53.1755	1.67

分野	◇重要度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(8)	① 高齢者支援の取組み	56.582	62.120	5.54
(8)	② 乳幼児支援の取組み	58.055	56.749	-1.31
(8)	③ 小・中・高生に対する医療支援の取組み	49.173	50.568	1.40
(8)	④ 障がい者支援の取組み	53.284	52.899	-0.39
(8)	⑤ 在宅介護を支えるサービスの取組み	58.226	58.979	0.75
(8)	⑥ 健康診断など保健サービスの取組み	51.062	55.229	4.17
(9)	① 町内医療体制の充実	64.771	68.352	3.58
(9)	② 安芸太田町病院事業の充実	65.120	67.744	2.62
(9)	③ 医療機関・福祉介護施設・保健事業の連携	63.366	62.981	-0.38

分野	◇満足度×重要度	ニーズ		ニーズ変移
		H25	H30	
(8)	① 高齢者支援の取組み	-0.44	1.67	2.11
(8)	② 乳幼児支援の取組み	0.24	-1.56	-1.81
(8)	③ 小・中・高生に対する医療支援の取組み	-6.46	-6.17	0.29
(8)	④ 障がい者支援の取組み	-1.17	-1.60	-0.43
(8)	⑤ 在宅介護を支えるサービスの取組み	0.81	2.32	1.52
(8)	⑥ 健康診断など保健サービスの取組み	-7.32	-4.67	2.65
(9)	① 町内医療体制の充実	9.03	8.05	-0.98
(9)	② 安芸太田町病院事業の充実	7.33	5.46	-1.87
(9)	③ 医療機関・福祉介護施設・保健事業の連携	5.77	4.59	-1.18

策定ワーキング会議からの意見

5年後・20年後に予想される状況

- ・ 医師不足の為、医師一人あたりの負担増加
- ・ 町内医療機関の縮小、閉鎖に伴い、町内で安定した医療を受けられなくなる。
- ・ 在宅医療の仕組みが発展し医療機関の利用者が減る。
- ・ 高齢化により要介護者が増加し、福祉施設運営を圧迫する。

検討すべき項目

- ・ 持続可能な町全体の医療体制の検討
(安芸太田病院、診療所、開業医全体で)
- ・ 将来にわたって地域包括ケアを実践できる人材の育成
- ・ 在宅介護の支援策の検討

施策の検討方針（経過報告）

4. 社会基盤・防災・防犯

～みんなで支えあう安心なまち～

国、県との連携をはかり、道路網の維持、整備のほか、治山、砂防事業を進めています、上下水道に関しては、適正で安定的な運営のための計画的な更新を進める必要がある。

一般アンケート「満足度」×「重要度」変移（H25 H30）

分野	◇満足度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(2)	① 災害対策の取組み（砂防等公共事業）	53.49982	44.14483	-9.35
(2)	② 災害対策の取組み（情報発信・対策本部体制等）	57.91989	53.44642	-4.47
(2)	③ 協働・共助の地域防災体制の取組み	52.7167	48.93109	-3.79
(2)	④ 避難環境の充実	43.88802	41.16471	-2.72
(2)	⑤ 救急・消防体制の現状	60.87545	61.42351	0.55
(2)	⑥ 交通安全・防犯・消費者行政などの取組み	59.92	59.61738	-0.30

分野	◇重要度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(2)	① 災害対策の取組み（砂防等公共事業）	58.744	66.072	7.33
(2)	② 災害対策の取組み（情報発信・対策本部体制等）	59.063	62.829	3.77
(2)	③ 協働・共助の地域防災体制の取組み	54.078	53.355	-0.72
(2)	④ 避難環境の充実	60.171	63.387	3.22
(2)	⑤ 救急・消防体制の現状	61.935	61.765	-0.17
(2)	⑥ 交通安全・防犯・消費者行政などの取組み	51.925	50.872	-1.05

分野	◇満足度×重要度	ニーズ		ニーズ変移
		H25	H30	
(2)	① 災害対策の取組み（砂防等公共事業）	2.43	12.43	10.00
(2)	② 災害対策の取組み（情報発信・対策本部体制等）	0.51	4.52	4.00
(2)	③ 協働・共助の地域防災体制の取組み	0.62	2.50	1.89
(2)	④ 避難環境の充実	10.02	14.09	4.07
(2)	⑤ 救急・消防体制の現状	0.48	0.22	-0.26
(2)	⑥ 交通安全・防犯・消費者行政などの取組み	-3.82	-4.21	-0.39

策定ワーキング会議からの意見

5年後・20年後に予想される状況

- ・財源不足（利用者の減少）等により町道、上下水道の維持管理が困難になる。
- ・消防団員が減少し、地域防災力が低下する。
- ・駐在所の減少と空き家の増加により、治安・住環境が悪化し地域住民の不安が増す。

検討すべき項目

- ・コンパクトシティ（住み替え）を実現し、必要最小限のインフラ整備の考え方の検討
- ・消防団の効率的かつ効果的な体制整備と活動の検討
- ・地域全体で取り組む防犯、防災体制整備と避難行動等の住民意識向上施策の検討

施策の検討方針（経過報告）

5. 生活利便性・環境

～ゆるやかにつながっているやさしいまち～

高速ブロードバンド環境は、医療、教育面での活用や、企業誘致の実現に繋がる等、インフラのストック効果が表れていると考えている。一方で、公共交通に関しては、利用者の減少や利用ニーズの多様化等に対応するために、公共交通施策の方向性について大きく舵をきる時期に来ていると考えている。

一般アンケート「満足度」×「重要度」変移（H25 H30）

分野	◇満足度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(3)	① 道路・橋・河川護岸等の整備	53.82331	44.95759	-8.87
(3)	② 道路・橋・河川護岸等の維持管理	52.61699	43.12136	-9.50
(3)	③ 計画的な土地利用による住環境の整備	42.14471	38.93715	-3.21
(3)	④ 上下水道の整備・維持管理	59.40463	59.01533	-0.39
(3)	⑤ 空き家の老朽化対策の取組み	34.56518	29.03351	-5.53
(3)	⑥ ごみ処理・し尿処理・火葬場の整備	70.94699	68.70825	-2.24
(3)	⑦ 情報通信網（光ファイバー、携帯電話）の整備	47.79249	64.85517	17.06
(3)	⑧ 利便性の高い公共交通の整備	32.97326	34.2412	1.27
(4)	① 自然環境の保全	56.56022	53.89796	-2.66
(4)	② 里山の景観整備	50.80937	50.16528	-0.64
(4)	③ 自然エネルギーの活用	39.69335	44.86729	5.17
(4)	④ 有害鳥獣対策の取組み	37.91619	36.22794	-1.69

分野	◇重要度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(3)	① 道路・橋・河川護岸等の整備	49.449	57.307	7.86
(3)	② 道路・橋・河川護岸等の維持管理	52.882	58.776	5.89
(3)	③ 計画的な土地利用による住環境の整備	41.223	43.930	2.71
(3)	④ 上下水道の整備・維持管理	48.628	53.051	4.42
(3)	⑤ 空き家の老朽化対策の取組み	33.998	50.771	16.77
(3)	⑥ ごみ処理・し尿処理・火葬場の整備	41.602	45.906	4.30
(3)	⑦ 情報通信網（光ファイバー、携帯電話）の整備	41.113	37.293	-3.82
(3)	⑧ 利便性の高い公共交通の整備	60.631	61.411	0.78
(4)	① 自然環境の保全	45.925	49.960	4.04
(4)	② 里山の景観整備	42.738	45.805	3.07
(4)	③ 自然エネルギーの活用	45.801	35.114	-10.69
(4)	④ 有害鳥獣対策の取組み	46.322	57.611	11.29

分野	◇満足度×重要度	ニーズ		ニーズ変移
		H25	H30	
(3)	① 道路・橋・河川護岸等の整備	-2.28	7.86	10.14
(3)	② 道路・橋・河川護岸等の維持管理	0.12	10.37	10.25
(3)	③ 計画的な土地利用による住環境の整備	-0.42	2.29	2.70
(3)	④ 上下水道の整備・維持管理	-5.63	-2.70	2.93
(3)	⑤ 空き家の老朽化対策の取組み	-0.26	11.04	11.29
(3)	⑥ ごみ処理・し尿処理・火葬場の整備	-16.76	-11.95	4.81
(3)	⑦ 情報通信網（光ファイバー、携帯電話）の整備	-3.16	-18.59	-15.43
(3)	⑧ 利便性の高い公共交通の整備	17.17	17.52	0.35
(4)	① 自然環境の保全	-6.59	-1.98	4.62
(4)	② 里山の景観整備	-4.17	-2.16	2.01
(4)	③ 自然エネルギーの活用	2.82	-4.53	-7.35
(4)	④ 有害鳥獣対策の取組み	3.94	12.84	8.90

策定ワーキング会議からの意見

5年後・20年後に予想される状況

- ・空き家の増加と町営住宅等の老朽化が町のイメージダウンにつながる。
- ・人口減少や高齢化に進行により、人手が入らない場所が増え、地域環境、自然環境が悪化することにより、有害鳥獣の被害がさらに増加する。
- ・パソコンやスマホ端末を持っていない、使えない人も多く、ブロードバンド環境の効果的な活用が図られない。
- ・利用者の減少によりバス路線等公共交通の縮小・廃止とスクールバスの広域再編が余儀なくされる。

検討すべき項目

- ・空き家対策（活用）の仕組みづくりの検討（さまざまな考えを持つ人を受け入れる意識の醸成等ソフト面も含む）
- ・持続可能な公共交通システムの検討（最新技術や様々な仕組みを取り入れ効率化を図る）
- ・ブロードバンドを活用した町内全世帯への情報インフラ整備の検討（例：全世帯タブレットを活用することによる住民サービスの向上策検討）

施策の検討方針（経過報告）

6. 産業・雇用

～やりたいことをカタチにしてつなぎあうまち～

農業法人等や新規就農者への生産活動に対する支援等を行い農業生産高の拡大は図られたと考えている。林業分野においては、補助事業頼みの側面もあり、林業経営体の自立が今後の目標といえる。

がんばるビジネス応援補助金による起業、事業継承者は、平成27年度から30件を超え、ビジネスチャンス創出には一定の成果が図られたものと考えている。

観光面においては、入込観光客数は伸び悩み、観光消費高に関しては下降しており、地域商社を中心として、観光産業の成長に向けての地に足のついた取組を進める必要がある。

一般アンケート「満足度」×「重要度」変移（H25 H30）

分野	◇満足度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(1)	① 農林水産業振興の取組み	38.66352	37.25142	-1.41
(1)	② 商工業活性化の取組み	35.66716	33.42844	-2.24
(1)	③ 観光振興の取組み	51.85652	39.93052	-11.93
(1)	④ 企業立地・雇用対策の取組み	23.49571	27.61871	4.12
(1)	⑤ 起業支援の取組み	30.10299	37.31162	7.21

分野	◇重要度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(1)	① 農林水産業振興の取組み	53.459	48.440	-5.02
(1)	② 商工業活性化の取組み	52.630	47.173	-5.46
(1)	③ 観光振興の取組み	50.506	48.744	-1.76
(1)	④ 企業立地・雇用対策の取組み	62.989	57.560	-5.43
(1)	⑤ 起業支援の取組み	48.655	42.968	-5.69

分野	◇満足度×重要度	ニーズ		ニーズ変移
		H25	H30	
(1)	① 農林水産業振興の取組み	8.16	5.62	-2.54
(1)	② 商工業活性化の取組み	8.97	6.58	-2.39
(1)	③ 観光振興の取組み	-0.64	4.32	4.96
(1)	④ 企業立地・雇用対策の取組み	23.32	16.76	-6.56
(1)	⑤ 起業支援の取組み	9.11	2.58	-6.53

策定ワーキング会議からの意見

5年後・20年後に予想される状況

- ・働く世代の働く場所が少なく町外への転出が増加し、町の税収が減少する。
- ・農業従事者が減少し、遊休農地が増え、景観が悪化する。
- ・町内に若者がわくわくするものがなく、情報発信力が弱い。
- ・観光の衰退と併せて店舗、施設が減少し観光消費額が下がる。

検討すべき項目

- ・既存の農業事業者の効率的かつ継続可能な農業経営支援の検討
- ・新たな農業事業者の掘り起しと定着策の検討
- ・町外からの流入、町内の経済循環の促進に向けた「道の駅」等町内の観光拠点の強化。
- ・町内の自然環境をフル活用したアクティビティの創出の検討
(環境保全意識の醸成と外貨獲得のコンテンツとして活用方策検討)
- ・産業振興を目的とした「関係人口」の増加施策の検討。

施策の検討方針（経過報告）

7. コミュニティ

～あなたの力が必要ですHotな心が通いあうまち～

地域マスタープラン事業等、地域の主体的な取組みをサポートする施策を行い、コミュニティの維持には一定の成果があったと考えているが、急激高齢化、人口の減少に対応する将来のコミュニティの在り方については、住民との意見交換を重ね早急に検討する必要があると考えている。

一般アンケート「満足度」×「重要度」変移（H25 H30）

分野	◇満足度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(7)	① 町民参画や協働のまちづくりの取組み	51.83322	50.91783	-0.92
(7)	② 地域コミュニティ活動の取組み	54.90859	53.2056	-1.70
(7)	③ 男女共同参画やDV（※）対策の取組み	51.80778	51.58008	-0.23
(8)	① 行政改革への取組み	39.03621	39.56929	0.53
(8)	② 町有施設・町関係団体のあり方等の効果・検証	40.1207	39.81011	-0.31
(8)	③ 行政借金残高の減少への取組み	38.16683	39.96062	1.79
(8)	④ 広報や情報公開への取組み	56.24687	55.04184	-1.21
(8)	⑤ 行政機関の窓口サービス	51.95612	54.4398	2.48

分野	◇重要度	偏差値		偏差値変移
		H25	H30	
(7)	① 町民参画や協働のまちづくりの取組み	36.145	37.800	1.65
(7)	② 地域コミュニティ活動の取組み	37.377	39.117	1.74
(7)	③ 男女共同参画やDV（※）対策の取組み	27.858	31.010	3.15
(8)	① 行政改革への取組み	60.512	54.115	-6.40
(8)	② 町有施設・町関係団体のあり方等の効果・検証	50.626	47.325	-3.30
(8)	③ 行政借金残高の減少への取組み	61.551	52.341	-9.21
(8)	④ 広報や情報公開への取組み	47.205	44.842	-2.36
(8)	⑤ 行政機関の窓口サービス	52.185	48.592	-3.59

分野	◇満足度×重要度	ニーズ		ニーズ変移
		H25	H30	
(7)	① 町民参画や協働のまちづくりの取組み	-8.16	-6.68	1.48
(7)	② 地域コミュニティ活動の取組み	-9.97	-7.71	2.26
(7)	③ 男女共同参画やDV（※）対策の取組み	-12.26	-10.47	1.79
(8)	① 行政改革への取組み	14.99	8.34	-6.65
(8)	② 町有施設・町関係団体のあり方等の効果・検証	5.35	3.22	-2.13
(8)	③ 行政借金残高の減少への取組み	16.41	6.58	-9.83
(8)	④ 広報や情報公開への取組み	-5.25	-7.20	-1.95
(8)	⑤ 行政機関の窓口サービス	0.10	-3.17	-3.27

策定ワーキング会議からの意見

5年後・20年後に予想される状況

- ・行政コストの増加、町の細部にわたる行政サービスが行き届かない。
- ・集落の過疎化・限界集落化、孤立化が進み、集落の自治活動の継続が困難になる。
- ・産品の固定化や新しいジャンルの創出不足もあり、ふるさと納税が伸びず、税収の増額が見込めない。
- ・住民と役場との意思疎通の低下

検討すべき項目

- ・一段階大きな枠で自治活動を行う仕組みを作る等の自治組織の再編の検討
- ・町民の声が行政に届きやすい仕組みづくりを検討
- ・庁舎内にふるさと納税担当チーム設置の検討